

沼津の養殖、明治に生まれり…

沼津では、現在、沿岸部において魚の養殖が行われています。中でもマアジの養殖は国内の5割以上が沼津産（2017年度統計による）です。沼津の海面における養殖の歴史をさかのぼると、その始めは明治時代に行きつくことができます。時代によって養殖する生き物は移り変わっており、実に様々な生き物を養殖していました。

本企画展では、沼津の海面で行われたノリ養殖・真珠養殖・魚類養殖を取り上げ、歴史史料や国の重要有形民俗文化財「沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具」から知られざる沼津の養殖を明らかにしていきます。



区画漁業第一種海苔立絵図面
年代不明
小海増田家寄託
当館保管



畜養から真珠養殖への使用目的変更御願
大正2年(1913)
内浦漁業協同組合文書
沼津市文化財センター所蔵



西浦江梨字来海に広がる魚類養殖場
平成元年(1989)
杉山榮一氏撮影



粗朶ひびを立てるための穴をあける振り棒
国指定重要有形民俗文化財
当館蔵



マルカゴ(真珠養殖の丸籠)
国指定重要有形民俗文化財
当館蔵



ハカリダモ(養殖ブリ計量用漁網)
国指定重要有形民俗文化財
当館蔵